



武蔵野に生るる花の集り

4
2265



Handwritten marks at the top left of the left page.

Handwritten number 2265 in a red rectangular stamp on the top right of the right page.



Handwritten number 12 at the bottom center of the right page.

むしと飛輪うはまらうらねるあま

寛政六年三月十日ふまをあらて 京よのついで

一月をかりそまよりては月日の十日より京とあ

直に安徳海をこく屋張の急を存ふあしと日

月の海下りくつらそのふとのまを人のむあかう

まつさくくふたつ

京よの月ねは花のちかきとさるらま

こころうきあぬまのまははあなてもふれみやこころ

京のくくくく

桜をとるくちりぬれぬくもなきるるまの京人う那

のふらまはまゆしんくよ

かきくもくよまたらうきちりをはもの時ふはあなぬあしあ



肥後守播磨真由一れゆらひきしき富のあまきり
んふあせむとあまきりしきあてらまゐるのゆりれ
しきあせむとあまきりしきあてらまゐるのゆりれ

ちりぬる白のちりてしきあまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ
あまきりしきあてらまゐるのゆりれ

草の根のちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

草花

はらわすのちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

草花

ちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

くわ

ちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

ちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

草花

ちねんをいふはさきかきしきりて

ちねんをいふはさきかきしきりて

草花

ちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

草花

ちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

くわ

くわ

ちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

ちねんをいふはさきかきしきりて

くわ

ゆきとていじと田い海りし事付と久しあめぬ飯の江の松
あふふと此きこはるのふ指しと久しあててまもるむ
又の目ち坂よりかきかふるを原の跡をうめて

みませ山よりふし跡ときえれば今も川原はあてゆへ
何とえればんしとあふいふしあもるゆへにこのあふいふ
みませふみませあふの跡つて井の林と神とむまはり
あなうりりりあやのそまふふまふまふあむあむあむ

山後の八橋のむらさき

あふいふりりりあやのそまふふまふまふあむあむあむ
渡川と中よしとあふいふいふいふいふいふいふいふいふ

桂川の橋をむらさき

久ふの中あふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

難波のゆきつしあふいふいふいふいふいふいふいふいふ
いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

藤をうりつしあふいふいふいふいふいふいふいふいふ

山本氏 甲斐屋

いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

上流社

あふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
川いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ
いふいふいふいふいふいふいふいふいふいふいふ

みる月もさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
下鴨——

あそびはみずの清きせうふむ——
け日静かなるもあはれ——

あつら——きふふらねてもつらき鴨の川ふらふら
草の根の毛糸も目くすもあはれさうあはれため——
んあはれ——

泣のさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
福井のふらふらあはれ——
あはれ——

あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を

あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を

あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を

あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を
あはれはさびしき山もさびしき涼もさびしき鴨の池を

かゝるものゝ心は、
あつたは、
いふに、
と、
確たる、
あつたは、

かゝるものゝ心は、
あつたは、

かゝるものゝ心は、
あつたは、

かゝるものゝ心は、
あつたは、

かゝるものゝ心は、
あつたは、

かゝるものゝ心は、
あつたは、

かゝるものゝ心は、
あつたは、

かゝるものゝ心は、
あつたは、

まゝおねらむらひしるすわり年乃...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

やよひの海...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

孫亮

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

福根大母

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

四月二十日未の時ノツリ大人のやとりかへし申は申者
町ちの海をわたるの海をわたるの海をわたるの海をわたるし
ふもみちまはりりおまはりし

みやう海をわたるおれおれ夜月のまひてうらふはまふまふ
友へもまへへおれをわたるおれをわたるおれをわたる
大人よもみちまはりりおまはりし

おれをわたるおれをわたるおれをわたるおれをわたる
おれをわたるおれをわたるおれをわたるおれをわたる

おれをわたるおれをわたる

おれをわたるおれをわたるおれをわたるおれをわたる

又 孫真

いせ人のこゝろもおれをわたるおれをわたるおれをわたる

いせ人のこゝろもおれをわたるおれをわたるおれをわたる

おれをわたるおれをわたる 大平

おれをわたるおれをわたるおれをわたるおれをわたる
おれをわたるおれをわたるおれをわたるおれをわたる
おれをわたるおれをわたるおれをわたるおれをわたる
おれをわたるおれをわたるおれをわたるおれをわたる

よき人よがうそ日神のまゝのこの後の社

大井

い
木の
木の
木の

己の
己の
己の

ま
ま
ま

ふ
ふ
ふ

あ
あ
あ

ち
ち
ち

ふ
ふ
ふ

け
け
け

あ
あ
あ

ち
ち
ち

大井

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

梅のふりしほりてききぬは門津燈をのりてききぬ  
うきのみかからまりやばらばらのやうのやうもなきふりてききぬ

梅村の川の船をりてききぬ ちんぼん

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと  
まらばら梅のふりてききぬ梅ははらばらと梅ははらばらと

一日ききぬ梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばら

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと

ちんぼん梅ははらばらと梅ははらばらと梅ははらばらと



ちよりて里は名ふあふ老松のたれんをうらむるをうらむる  
またねといはれりしれをうらむるにのせしあめりしてうらむる  
よめりしそのおのうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
いはいえりしそのおのうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる

海一うらむる

高溪

かまふてはたのうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
のらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
きほつてはたのうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる

大平

うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる

本清川樂磨

うらむる

あめり

うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる  
うらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむるをうらむる





けりし水鏡の伊とて人あるまはして  
は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして

は十日の月をくまはる

のりし水鏡の伊とて人あるまはして



しんせいのあつしんじき。わづのまじりしりや。あつしんじき

あつしんじき

村田泰足 字大輝

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

小林善見 字また田

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

久保海兵 字中助

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

小原公雄 字寛房

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

志村玉見 字公伸

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

岡村善吉 字善吉

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

中嶋果忠 字正伯

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

山本永樹 字信房

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

正社

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

正門

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

正平

あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。あつしんじき。

あつしん

正平 字正平

~~~~~人あまはつさつ~~~~~  
湖の船

~~~~~  
舟の海や仲~~~~~  
舟大~~~~~

果中

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
~~~~~

果中

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

水花

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

園

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

身舞



あはれなるもは 臨みして みるものも かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし

あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし

浄法寺 二 天宮 如来 法華 經  
十八日 五 日 慢 といふ ありて 加藤 藤 氏 といふ こと ありて 大人 の  
う ぶ ありて せむし かく ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし

あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし

かー

あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし

あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし

あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし  
あはれなるもは ぬくもの せむし かく ぬくもの せむし

本金 宗 兄

字 久 次 郎

横山 澄 人

字 澄 之 七

日 暮 宗 兄

字 暮 之 七

同若雄 字と臣

うゝ

ふのむの二夜もあむふたはへん思の影も川の内月  
あふくまそ月とるそゆとあまそかすいて

うゝ

こくせこと書かしてくは露のちと月とるそよのそ

うゝ

うゝ

けいふくもあむのれ影夜もあむ思の影もあふくむ  
ちよれよあむそあむそあむそあむそあむそ

けいふくもあむのれ影夜もあむ思の影もあふくむ

はつ州の鬼及えそあむそあむそあむそ

宣長

やういそあむのれあむのれあむのれあむのれあむのれ

同里早川文昭のあむそ

あむのれあむのれあむのれあむのれあむのれあむのれ

ナセのあむそあむそ

東照太神のあむそあむそあむそあむそ

川流のみあむそあむそあむそあむそあむそあむそ  
てあむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそ  
あむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそ  
あむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそ  
あむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそ  
あむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそあむそ





さくらりし使え

かこいふれしはましきれものもあつたあちりせは  
くこのけ日のまははうしむらしむらあまの御まあし  
んえ璣邑の羽の体よりあ唇のまもつてはうらまを  
くしれしよりあちりせふあそつくり

乃むほしむらあまのまもつてはうらまを  
あちりせしむらあまのまもつてはうらまを

影れま権 影れま権

さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え

さくら

さくらりし使え

さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え

さくら

さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え

さくら

さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え  
さくらりし使え

いせの...  
...  
...

...  
...

...  
...  
...

...

...  
...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten text in Arabic script, top line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, tenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, eleventh line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, twelfth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, thirteenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fourteenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, fifteenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, sixteenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, seventeenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, eighteenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, nineteenth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, twentieth line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, twenty-first line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, twenty-second line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, twenty-third line of the right page.

Handwritten text in Arabic script, top line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, second line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, third line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, fourth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, fifth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, sixth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, seventh line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, eighth line of the left page.

Handwritten text in Arabic script, ninth line of the left page.

多度社よりまうて菅川のあつたにたよき池

長徳のまやに流るる川はいせうにふるうほほしき川

日一社

桂松の信よき書

ふふそとぬきしたむむまなほのりたけなれのみれも玉

あまのうきまきぬるの野代とく里とるる海

大人おれ一橋をききて

このうきぬきまきぬる海のあつたにたよき池

たせ田口をききてあつた海をききてあつた海

東のこまきふりよき書

き田山にりり川をききてあつた海をききてあつた海

け田山にりり川をききてあつた海をききてあつた海

流るる海をききてあつた海をききてあつた海

早苗

向田実沈字長壽

け田山にりり川をききてあつた海をききてあつた海

詩歌

念田成山歌

くきとるる海をききてあつた海をききてあつた海

浦六月曲

此本田成字長壽

くきとるる海をききてあつた海をききてあつた海

心郭公

小島春村字長壽

くきとるる海をききてあつた海をききてあつた海

山新橋

信長

くきとるる海をききてあつた海をききてあつた海

川あり

念田英株字長壽

くきとるる海をききてあつた海をききてあつた海



大人のうらやまは、橋をたはむといふていふ事ありき  
時

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

横井の秋

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


そいつであつた松のつくろひもさう
さうせうふらふつふらふのなみもよめてらうわな海と海とよむまじ
山中といふ里の海とよむまじ

まじりてゐるうしろをえまきおほひのたきよゆくの海とよむまじ
た人のなをえむよりうしろのなほまきおほひとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじ

おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
は月十九日とよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ

山田結英又

まじりてゐるうしろをえまきおほひのたきよゆくの海とよむまじ

日一時ふ

石塚新太郎

とよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ

うしろをえまきおほひのたきよゆくの海とよむまじとよむまじ
山田とよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ

おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ

おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ
おほひとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじとよむまじ

0.111

きりぎりすのこゝろに
目もさへみせぬ
あはれなるこゝろ

あめはあらし
ちかぬ
ちかぬ

いろい
いろ

前津東園會魚題

待郭公

宣長

秋もはなはた
秋

千秋

かたち
二十是

元吉

あはれなるこゝろ
あはれなるこゝろ

幸久

あはれなるこゝろ
あはれなるこゝろ

正祐

あはれなるこゝろ
あはれなるこゝろ

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

龍上林呂

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

宣經

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

直實

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

元貞

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

宗則

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

正雄

龍上林呂

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

忠基

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

文中

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

公輝

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

大平

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

牡鹿輔

ゆきちめていまるやみかこと時さういつまそとつ聲はぬ

了榮

秋の風をしのいでおぼろけの露に此の山はさかすかにほのかに
あかす

致陳

時をまたいでおぼろけの露に此の山はさかすかにほのかに
あかす

文明

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

直亮

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

正古

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

將聽

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

高門

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

當田座

更衣

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

郊花

將聽

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

荻天

千秋

おぼろけの露に此の山はさかすかにほのかにあかす

早苗

千景

うきうき早苗あこもる夕焼けいさしはまゝの田よけ

草薙 文中
ふさふさの朝ふらやををぬくふさふさの夕焼けいさし

軒橋 元吉
思ひいそむくさのへとはたれの志州く小にふさふさの夕焼けいさし

標 幸久
ちあへる夕焼けいさしをぬくふさふさの夕焼けいさし

五月雨 宣經
さうさう水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

水鶏 正隆
たの戸をたたく水鶏ふさふさの夕焼けいさし

夏月 元貞
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

夏草 公輝
あつあつ水うさまもりてはす川瀬ほとちあはれ

いよめいふとそれとこれとつるのちきりいにはさけるゆゑなる
蚊遣火 高きすけ

折浮とる月にはつじ強きなるも折るやうな外ありて
池蓮 致陳

すしと水まじり拂ふ夕ぐせうは由のむちと池のそちすな
氷室 文明

まふれは暮とらとらと氷室山のせとまよとむ物の下かけ
夕ぐせ 了平

きんいやく凡まきふいていせとれかえんをゆゑとら
納涼 直亮

凡のまふ神代ありてちのの葉めとらとすしとる夕ぐせ
夏山 忠基

あさうせしあはれ柄もききりあひと花のみふりとるの山は
あはれ蟬 新丸

あまれとれてとそれとあつあつあすあすあすあすあすあす
あまれとれてとそれとあつあつあすあすあすあすあすあす

橋

宣長

はしをけしとてしりあはるるをんりそはまほぶあのみむ

元貞

あしをききしあはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

しりあはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

えぬせきとてしりあはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

宗則

あはるるをんりそはまほぶあのみむ

2678 ...

自らの申あはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

いふはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

いふはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

いふはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

いふはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

いふはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

忠見王

乙中

おちうらやまのまはれたるのうらやまのまはれたるを

乙中

いふはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

いふはしむるはたつたるのうらやまのまはれたるを

當田座

新樹

宣長

あうみより梅あやうきとわはふ風あつかりきあつあうら

菱

冬中

いづらうらまのしほらわい春の半ちんのかけしめりむ

郭

正隆

あつねいりしやまのねおほはきしせしかりのあつあつしほ

さしこ

山祇

あまの川このまはあひひしてあつあつしほのあつあつ

夏月

三門

あつあつしほのあつあつしほのあつあつしほのあつあつしほ

あつあつ

あつあつ

かあまししほのあつあつしほのあつあつしほのあつあつしほ

燈

公禰

みらきねのあつあつしほのあつあつしほのあつあつしほ

夕立

み足

くまねのあつあつしほのあつあつしほのあつあつしほ

幼縁

元吉

あつあつしほのあつあつしほのあつあつしほのあつあつしほ

夏月

新丸

あつあつしほのあつあつしほのあつあつしほのあつあつしほ

夏月

元貞

あつあつしほのあつあつしほのあつあつしほのあつあつしほ

あつあつ

直亮

あつははらあきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

甘地係

致康

ふちはあつたのあつたれはひらとちあきのあきのあ

近恋

あ秋

たつはつたあきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

ちと意

ちと意

ほらとつたあきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

稀志

ちと意

まらとつたあきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

厭戀

宗則

あきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

やう

朗

あきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

田里

あきあき

あきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

関

将聴

あきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

四新旅

あきあき

あきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

憶念

あきあき

あきあきとつとつめゆるゆるとつとつあきあき

